

平成26年度第2回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 平成26年8月6日(水)
午前10時30分～
会 場 中央生涯学習センター 204 学習室
(中央生涯学習センター2階)

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) 平成26年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について・・・資料1

(2) 平成26年度宇都宮市民大学後期講座の実施について・・・資料2

(3) 平成27年度宇都宮市民大学の実施について・・・・・・・・・・資料3

4 その他

5 閉 会

宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間
(平成24年9月1日～平成26年8月31日)

No.	氏名	所属団体等役職
1	あいは えつお 響庭 悦夫	作新学院大学・作新学院女子短期大学部 事務局長
2	いしづか みきお 石塚 幹男	株式会社下野新聞社 編集局総務部長
○ 3	おかだ かずなり 岡田 一成	宇都宮共和大学 事務局長
4	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
◇ 5	こぼり きょうこ 小針 協子	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら 主任研究員
◎ 6	たけざわ かずお 竹澤 一夫	株式会社栃木放送 代表取締役社長
7	なかじま そうこう 中島 宗皓	宇都宮大学 地域連携教育研究センター センター長
8	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
9	はなづみ かずこ 花積 和子	宇都宮市生涯学習コーディネーター
◇ 10	ますだ としかず 増田 寿一	財団法人とちぎ未来づくり財団 事務局長

(五十音順)

◎ 会長 ○ 副会長 ◇ 監事

平成 26 年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について

1 合同開講式・公開講座

平成 26 年度前期合同開講式・公開講座を下記のとおり開催した。

(1) 開催日時

平成 26 年 5 月 24 日（土） 午前 10 時～正午

(2) 会場

文星芸術大学 大講義室

(3) 参加者数

154 名

(4) 合同開講式

ア 実施内容

- ・ 主催者挨拶 宇都宮市教育委員会 教育長 水越 久夫
文星芸術大学 教授 ちばてつや 氏
- ・ 来賓挨拶 宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員長 増渕 幸男 氏
- ・ 受講者証交付 宇都宮市教育委員会教育長より受講者代表 2 名へ交付

イ 受講者の感想・意見

- ・ 講座開催の意識付けをするためにも必要に思われる。
- ・ 合同開講式に参加する事により、気持ちが高揚し、これからの講義を全部吸収してやるぞという気持ちになり、大いに意義がある。
- ・ たくさんの来賓・主催者の方々とお会いできて良かった。
- ・ 開講式は必要と思うが、形式的過ぎるのでは。

ウ 評価

受講者のアンケートでは、「専門講座ごとの開催でよい」という意見が 1 割程あったが、7 割以上が「よかった」と評価している。

感想・意見からは、「生涯学習の意義を知り、学ぶ意欲が高まった。」や「日頃、出掛けられない所に入ることができて良い」などの意見もあり、受講者が一堂に会することや、共催事業として文星芸術大学で開催できたことは、受講者の学習意欲の高揚に繋がったものと考察される。

(5) 公開講座

ア 実施内容

- ・ 講 師 田中 誠一 氏（文星芸術大学 美術学部 准教授）
- ・ テ ー マ 「マンガの^{ちから}力を知る～大学でマンガを学ぶとはどういうことか～」
- ・ 講義内容 日本が生んだ世界に誇る「マンガ」という文化について、マンガ特有の表現方法の凄さやマンガの持つ影響力を学ぶことで、個人の生き方やマンガに対する見方などを考える講座

イ 受講者の感想・意見

- ・ マンガの持つ良さを知ることができた。機会をみてマンガに親しもうと思う。
- ・ 自分からは学ぼうとしないであろう分野の話が聞けてよかった。
- ・ 若い世代が受講するのに適した講座なのではないか。
- ・ 出席者共通の話題である，時事問題や宇都宮市の将来，課題など身近なテーマを選んではどうだろうか。

ウ 評価

受講者アンケートでは、「良かった」「どちらかといえばよかった」との意見が9割近くあり，非常に満足度の高い講座であった。

講義は，画像を用いて，わかりやすく，興味を引く内容であり，「楽しい時間だった」といった肯定的な意見が多くみられた。また，「マンガについて考えが変わってよかった」，「人生，生き方について考え，学ぶことができた」との意見もあり，受講者の視点や考え方を見つめ直すきっかけになったと考察される。

⇒ 別紙1 参照

2 専門講座

平成26年度前期は6講座を開催した。「公開講座」を全ての専門講座の第1回目として位置づけている。

(1) 講座数

6講座（※公開講座を除いた回数はそれぞれ6回～8回）

(2) 周知方法

広報うつのみや（平成26年4月号），市ホームページ，パンフレット，チラシ，ラジオ（栃木放送）

(3) 開催期間

平成26年6月2日～7月22日（公開講座を除く）

(4) 募集定員等

募集定員300名，応募者数462名，受講者数366名

(5) 講座内容

⇒ 別紙2 参照

(6) 講座の評価と課題

ア コース別の評価

3コース6講座のうち5講座において，定員を上回る申込みがあった。

【I ふるさと地域学コース（No.1「下野における戊辰戦争」，No.2「『小倉百人一首』の歴史学」）】については，市民大学における人気の高い歴史的要素を取り入れたものであり，受講者のニーズに合った講座であることからいずれも定員を超える応募があったものと考察される。

【Ⅱ 今を読み解く現代社会コース (No. 3「知って得する 気象講座」、No. 4「夢への挑戦 陸！海！空！」)】については、近年の異常気象や電気自動車開発、航空宇宙分野といった専門性の高いテーマを扱う講座を実施した。ともに受講者の関心の高いテーマであったことから、いずれも定員を超える応募があったものと考察される。

【Ⅲ 暮らしを彩る教養・文化コース】について、No. 5『水』ふしぎの世界』は、『水』という身近なテーマを扱ったが、身近であるがゆえ、『水』と『学び』のイメージが結び付きにくかったためか、定員に満たなかった。また、No. 6「下野薬師寺を探る」は、市民大学において人気の高い、寺院や仏像に関連した講座であったため、定員を超える多数の応募があった。

イ 総合的な評価

市民大学は、昨年度実施した生涯学習講座の再整理において、より高度で専門的な学習欲求に応える講座を提供することとなった。前期専門講座においては、科学や歴史など、受講者の知的好奇心を満たす専門性の高い講座を実施したことで、受講者の満足度が高かったことがアンケートにも表れている。

⇒ 参考資料参照

ウ 今後の課題

一定の応募者数を見込むには、講座のテーマ・内容等を考慮し実施していく必要がある。全体をとおして、歴史的要素や現代的課題を取り入れることで応募者が増える傾向にあることから、コースの目的を踏まえた上で、市民の知的好奇心を刺激する講座テーマや学習内容の工夫が必要である。

また、講座をきっかけとして、学ぶ意欲を更に高めてもらうため、娯楽的要素など楽しみながら学べる手法などを検討していく必要がある。

平成26年度宇都宮市民大学前期合同開講式・公開講座 アンケート結果



- ◇開催日時:平成26年5月24日 午前10時～正午
- ◇開催場所:文星芸術大学 大講義室
- ◇受講者数:154名
- ◇アンケート回収数:112名(72.7%)
- ◇出席来賓 1名
- ◇出席主催者 10名
- ◇運営スタッフ 18名

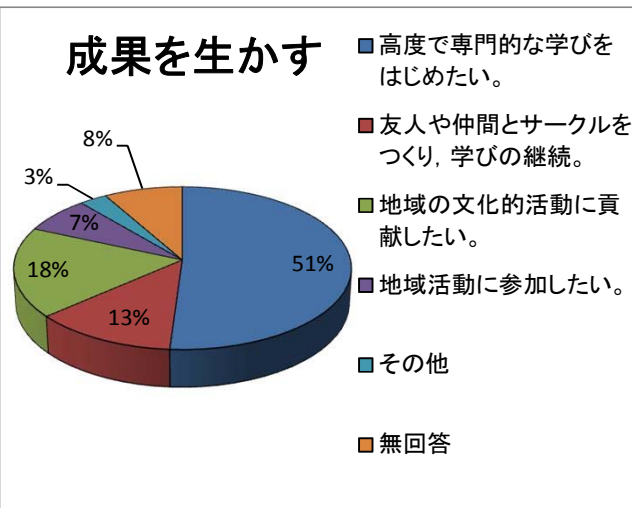
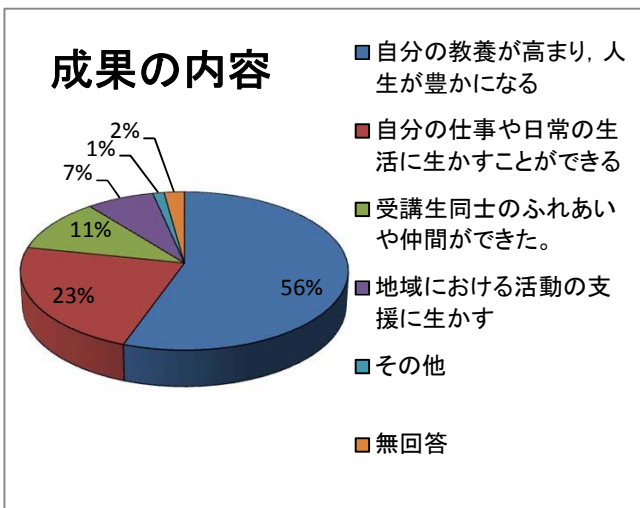
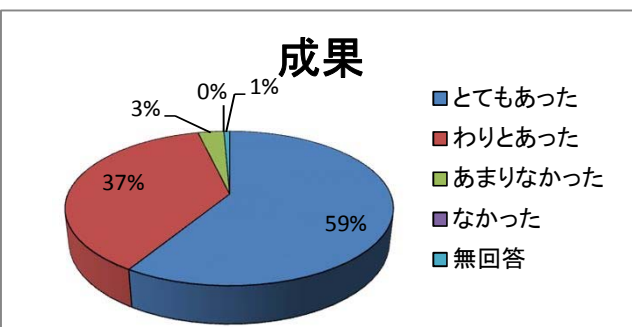
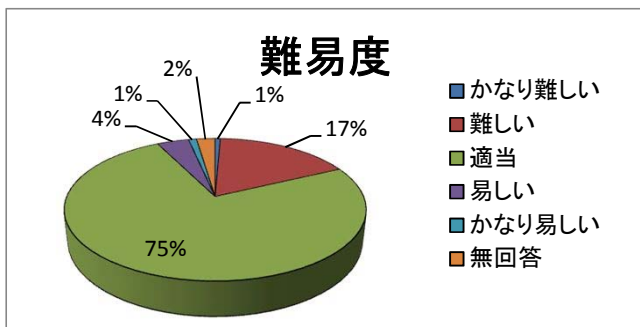
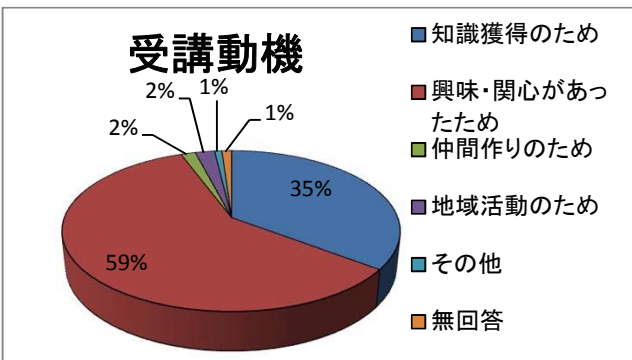
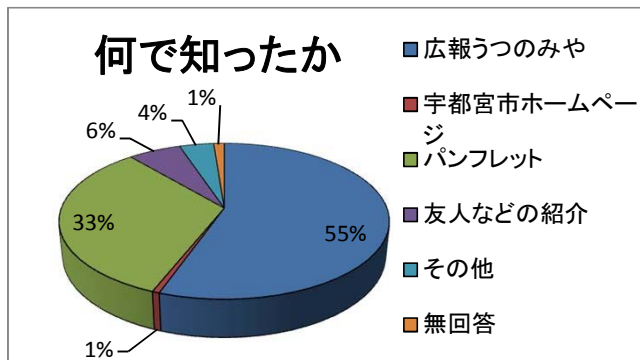
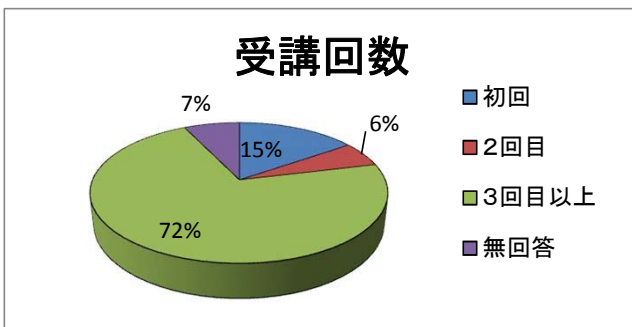
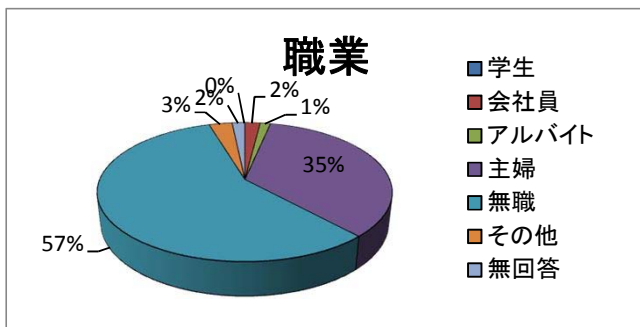
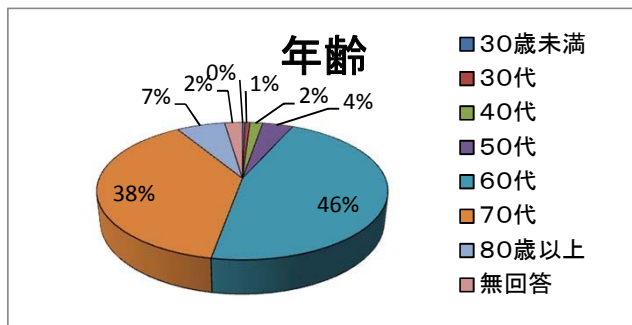
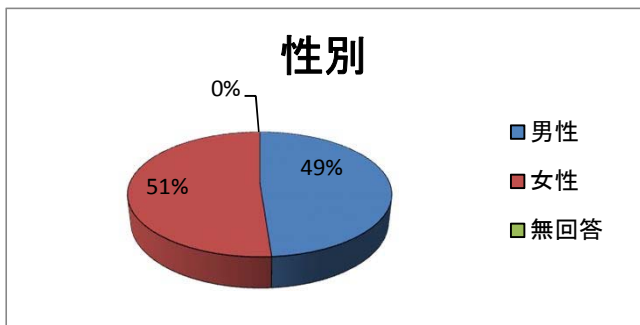
受講者について(全体)		区分	人数	割合
<p>(1) 年齢</p>		1 20歳未満	0	0%
		2 20代	0	0%
		3 30代	2	2%
		4 40代	2	2%
		5 50代	1	1%
		6 60代	41	37%
		7 70代	56	50%
		8 80歳以上	9	8%
		無回答	1	1%
	合計	112	100%	
<p>(2) 性別</p>		区分	人数	割合
		1 男性	53	47%
		2 女性	49	44%
		無回答	10	9%
		合計	112	100%
<p>(3) 公開講座と専門講座</p>		区分	人数	割合
		1 公開講座のみ受講	3	3%
		2 公開講座と専門講座を受講	109	97%
		無回答	0	0%
		合計	112	100%
アンケート結果		区分	人数	割合
合同開講式について		1 とても意義がありよかった	49	44%
	2 どちらかといえば意義があった	35	31%	
	3 どちらかといえば意義があるとはいえない	10	9%	
	4 従来どおり、専門講座ごとの開催でよい	15	13%	
	無回答	3	3%	
	合計	112	100%	
公開講座について		区分	人数	割合
	1 とてもよかった	73	65%	
	2 どちらかといえばよかった	25	22%	
	3 どちらかといえばよくなかった	4	4%	
	4 よくなかった	2	2%	
	無回答	8	7%	
	合計	112	100%	

平成26年度宇都宮市民大学前期専門講座

No.	講座名 (開講数) 【講座コース】	講師	開催 期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)
1	下野における戊辰戦争 ～宇都宮戦争を中心に～ (全9回) 【ふるさと地域学コース】	宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 大嶽 浩良 氏	6/3 ～7/22	(50) [136] 86	74 (86.0%)
2	『小倉百人一首』の歴史学 ～縁は愉快だ 宇都宮～ (全7回) 【ふるさと地域学コース】	文星芸術大学 美術学部 教授 福田 三男 氏 日本大学 文理学部 教授 関 幸彦 氏 益子町・宇都宮市郷土史研究家	6/6 ～7/11	(50) [55] 48	40 (83.3%)
3	知って得する 気象講座 ～天気のおもしろさと自然災害～ (全7回) 【今を読み解く現代社会コース】	宇都宮地方気象台 防災管理官 山本 義勝 氏, 気象情報官 和田 郁夫 氏, 地震津波防災官 藤崎 健一 氏, 防災気象官 杉田 興正 氏	6/2 ～7/7	(50) [82] 76	68 (89.5%)
4	夢への挑戦 陸!海!空! ～その発想とプロセスを学ぶ～ (全8回) 【今を読み解く現代社会コース】	慶應義塾大学 名誉教授 清水 浩 氏 社会システムデザイン株式会社 代表取締役社長 宮田 秀明 氏 帝京大学 工学部 教授 久保田 弘敏 氏 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙科学研究所 准教授 羽生 宏人 氏, チーフマネージャー 渡辺 安 氏 東京藝術大学 美術学部 准教授 八谷 和彦 氏	6/6 ～7/18	(50) [51] 45	38 (84.4%)
5	[文星芸術大学連携講座] 『水』ふしぎの世界 ～水の特性とスポーツ・食・芸術との関わり～ (全8回) 【暮らしを彩る教養・文化コース】	文星芸術大学 美術学部 教授 島野 安雄 氏, 教授 林 香君 氏 准教授 田中 久美子 氏 宇都宮文星短期大学 地域総合文化学科 教授 野澤 謙 氏, 助教 大津 智仁 氏	6/2 ～7/14	(50) [32] 30	27 (90.0%)
6	下野薬師寺を探る ～古代東国仏教の中心寺院～ (全7回) 【暮らしを彩る教養・文化コース】	栃木県考古学会 会長 橋本 澄朗 氏	6/5 ～7/10	(50) [106] 81	75 (92.6%)
合 計				(300) [462] 366	322 (88.0%)

※ () の回数には、公開講座を含む

平成26年度宇都宮市民大学前期専門講座 アンケート結果



【受講者の感想・意見（アンケートより抜粋）】

（前期専門講座① 下野における戊辰戦争）

- ・ 戊辰戦争についての専門家なのでとてもわかりやすく大変良かった。
- ・ 民衆・生活者の視点に立った学びは貴重だった。
- ・ 宇都宮も戊辰戦争にかかわったのをはじめて知った。
- ・ 一人の講師だけでなく、いろいろな講師がいても変化があっていいのでは。

（前期専門講座② 『小倉百人一首の歴史学』）

- ・ 宇都宮氏について詳しく知る事ができ良かった。特に館外学習が説明を聞きながらだったので、ためになった。
- ・ 歴史を身近に感じることができ、百人一首をより深く理解できたと思います。
- ・ テーマによっては、グループで話し合ったりすれば、さらにふれあいや仲間ができると思う。

（前期専門講座③ 知って得する 気象講座）

- ・ 近頃の異常気象が気になっていたので適時な講座内容でした。
- ・ 天気について日々関心を持つようになり、防災に対しての意識も高まった。
- ・ 空を見るのが楽しくなりました。
- ・ 天気図の作成をきちんと完成させたかった。テーマが難しかった。

（前期専門講座④ 夢への挑戦 陸！海！空！）

- ・ 新しいことを知るということのすばらしさを体感した。
- ・ 個人ではなかなか受けられないすばらしい講師ならびに、内容を聞いて心から感銘を受けた。
- ・ 子どもたちに話せることが多くなった。
- ・ もう少し深さが欲しかった。

（前期専門講座⑤ 『水』ふしぎの世界）

- ・ いろいろな角度から水を読み解いたのは、おもしろかった。水資源の大切さがわかった。
- ・ 内容が多角的で楽しい講座であった。
- ・ スポーツや食との関わりは理解できたが、芸術との関わりは理解しがたい面があった。

（前期専門講座⑥ 下野薬師寺を探る）

- ・ 歴史の事実だけでなく、その内側についてのお話もあり、大変勉強になりました。
- ・ 先生の熱意が伝わり引き込まれた。
- ・ 今の生活が長い歴史の上に立っているということを実感した。
- ・ もう少し時間がほしい。

平成 26 年度宇都宮市民大学後期講座の実施について

1 合同開講式

専門講座受講者を対象に、合同開講式を開催する。

ア 日時 平成 26 年 10 月 22 日 (水) 午後 2 時～午後 2 時 20 分

イ 会場 作新学院大学 作新清原ホール

2 公開講座

専門講座受講者及び一般市民を対象に、公開講座を開催する。

ア 日時 平成 26 年 10 月 22 日 (水) 午後 2 時 30 分～午後 4 時

イ 会場 作新学院大学 作新清原ホール

ウ 内容 演題 「本番力を 20% 高めるスポーツ心理学
～スポーツメンタルトレーニング～」

講師 作新学院大学 経営学部 スポーツマネジメント学科
准教授 笠原 彰 氏

3 専門講座

生涯学習コーディネーターの企画による 4 講座 (No. 2～No. 5)、作新学院大学との連携による 1 講座 (No. 1)、事務局の企画による 1 講座 (No. 6) を実施する。

ア 開催期間 平成 26 年 10 月～12 月

イ 開催回数 5 回～9 回程度 (公開講座 1 回を含む)

【後期専門講座内容】

No.	講座名	開催期間 (開催曜日・時間)
1	「柳田国男の可能性」と栃木学，まちづくりへの提言 【作新学院大学連携講座】	10 月～ (火曜日 午後)
2	老後を安心して暮らすために ～今、何をどうすべきか～	11 月～ (火曜日 午前)
3	仏像の歴史を探る ～素晴らしい仏さまとの出会いを求めて～	10 月～ (木曜日 午前)
4	「和食」文化を見つめ直そう ～豊かな自然の豊かな食材で，健康で長寿な食生活を～	11 月～ (金曜日 午後)
5	国の曙「弥生時代」を知る ～西から東，そして栃木へ～	11 月～ (月曜日 午前)
6	自分を伸ばす「コミュニケーション」 【事務局企画講座】	11 月～ (金曜日 午前)

※ 講座の実施会場は，人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター 5 階)

※ 午前⇒10時から12時，午後⇒2時から4時

平成 27 年度宇都宮市民大学の実施について

1 「宇都宮市地域教育推進計画」の推進に向けたこれまでの取組み（平成 22 年度～）

（1）生涯学習コーディネーターへの一本化（平成 22 年度～）

地域で活躍できる人材の育成と活用促進を図るため、「生涯学習ボランティア」と「生涯学習コーディネーター」を、「生涯学習コーディネーター」として一本化し、双方ともに市民大学専門講座の企画運営に参画できるようにした。

（2）講座企画運営選考委員会の実施（平成 22 年度～）

選考委員に外部の学識有識者を加えるなど委員構成の見直しを実施するとともに、生涯学習コーディネーターによる専門講座の企画提案について、プレゼンテーション方式による選考会を実施することにより、企画提案に対する審査の公平性・透明性を高めた。

（3）合同開講式・公開講座の実施（平成 23 年度～）

新たな「学びの場」の提供とともに、「学ぶ仲間」同士のさらなる交流機会の創出を図るため、合同開講式・公開講座を開催した。

（4）専門講座コースの見直し（平成 23 年度～）

「うつのみや地域教育プラン」に定める地域教育の推進を図るため、人と人とのつながりに重きを置いた「コミュニケーション学コース」を実施した。

（5）生涯学習コーディネーターの育成機会の創出（平成 23 年度～）

市民大学専門講座において生涯学習コーディネーターが司会進行等を行うほか、講座開始前に講師・企画者が「学習のポイント」を共通認識することで、育成した生涯学習コーディネーターのさらなるスキルアップを図ることとした。

（6）円滑な企画運営の推進（平成 23 年度～）

事務局と生涯学習コーディネーターが相互に協力しながら、生涯学習コーディネーターがより自立した活動が可能となるよう役割分担を明確化した。

また、講座企画者に専門講座企画運営費を助成することとし、企画者が講師との打合せや連絡調整等を円滑に実施できるようにした。

（7）生涯学習講座の再整理（平成 25 年度～）

「市民大学」、「生涯学習センター主催講座」、「人材かがやきセンター主催講座」について、それぞれの役割等を踏まえ、講座の再整理を行った。

2 平成27年度市民大学の実施について

(1) 開催方針

市民大学は、平成24年度に策定された「第2次宇都宮市地域教育推進計画」に掲げた基本目標（「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」）に基づき、平成26年度において、「生涯学習センター主催講座」、「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、高等教育機関との連携により高度で専門的な学習ニーズに応えるとともに、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に重点的に取り組んでいく方針を固めたところである。

平成27年度については、引き続き、第2次宇都宮市地域教育推進計画及び、市民大学事業等の役割の再整理を踏まえ、専門講座のコース設定をしていくが、より一層「専門的」「教養的」な事業となるよう、コース内容については一部再整理をする。

(2) 専門講座のコースの再整理

① 現状

現在、市民大学は、平成19年度に策定された「宇都宮市地域教育推進計画に掲げた基本施策」や「社会教育委員の会議の答申を踏まえた地域のつながりの希薄化への対応」に基づき、「ふるさと地域学コース」「今を読み解く現代社会コース」「暮らしを彩る教養・文化コース」「コミュニケーション学コース」の4コースにより、講座を展開している。

② 課題

- ア 宇都宮市地域教育推進計画の改定や市民大学事業等の役割の再整理により、事業の分類（コース）を再整理する必要がある。
- イ 現コースにおいて、コミュニケーション学コースは範囲が限定的で、他のコースと性格を異にしていることから、事業の分類（コース）設定の考え方を再整理する必要がある。

③ 対応

ア 基本的な考え方

- (ア) 第2次宇都宮市地域教育推進計画に掲げた基本目標（「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」）を踏まえたコース設定とする。
- (イ) 市民大学事業等の役割の再整理を踏まえ、「専門的」「教養的」な事業となるコース設定とする。
- (ウ) コースの設定にあたっては、講座の内容が限定的にならないように留意する。

イ 具体的検討

基本目標 役割	人づくり	絆づくり	地域づくり
専門的・教養的 (市民大学)	教養講座 現代的課題講座	※	地域学(広域)講座 歴史文化(広域)講座
一般的・実学的 (人材かがやきセンター) (生涯学習センター)	生活課題講座等	ボランティア養成講座等	地域学(狭域)講座 歴史文化(狭域)講座 地域デビュー講座等

※所謂「学縁づくり」であり、講座の内容ではなく、講座後のサークルづくりなど、講座の運営により対応する。

⇒現行のコースでは、この分野を「コミュニケーション学コース」として設定したが、本来、講座の内容で対応することは馴染まないため、講座の企画が困難であった。

ウ 結論

上記の検討を踏まえるとともに各講座の広がり(範囲)を考慮し、下記のとおり、コースを設定する。

- 教養講座 ⇒ 暮らしを彩る教養コース
- 現代的課題講座 ⇒ 今を読み解く現代社会コース
- 地域学(広域)講座・
歴史文化(広域)講座 ⇒ 郷土を愛する地域・文化・歴史コース

(現行との変更点)

現 行	変更後
I ふるさと地域学コース	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース
II 今を読み解く現代社会コース	II 今を読み解く現代社会コース
III 暮らしを彩る教養・文化コース	III 暮らしを彩る教養コース
IV コミュニケーション学コース	コースとしては廃止(運営で対応)

(3) 専門講座の実施方法等

① 講座実施数（12講座予定）

- ・前期（5～7月）：6講座，後期（10～12月）：6講座
- ・生涯学習コーディネーター企画：9講座，大学連携：2講座，事務局企画：1講座

② 選考方法

ア 選考会の実施

選考の透明性を確保し客観的な視点から講座を選考するため，専門的な知識を有する委員による講座企画運営選考委員会を実施する。

また，生涯学習コーディネーターのスキルアップと，講座企画選考委員会の実施状況の周知・理解を目的として，生涯学習コーディネーターの傍聴及び模擬審査への参加を促進する。

(4) 合同開講式・公開講座の実施について

平成27年度についても，市内の高等教育機関との連携・協力などにより，「合同開講式・公開講座」を実施する。

- ・「合同開講式」 専門講座受講者を対象に実施
- ・「公開講座」 専門講座受講者及び一般市民を対象に開催

【実績】

平成23年度	前期	宇都宮大学 峰キャンパス
	後期	宇都宮市立南図書館
平成24年度	前期	宇都宮共和大学 長坂キャンパス
	後期	帝京大学 宇都宮キャンパス
平成25年度	前期	宇都宮短期大学 長坂キャンパス（20周年記念講演会扱い）
	後期	宇都宮大学 峰キャンパス
平成26年度	前期	文星芸術大学
	後期	作新学院大学

【参考】担当大学一覧（予定）

平成26年度	平成27年度	平成28年度
文星芸術大学	宇都宮共和大学	宇都宮短期大学
作新学院大学	帝京大学	宇都宮大学

3 今後のスケジュール（予定）

8月下旬	第2回生涯学習コーディネーター連絡会議 （平成27年度市民大学専門講座企画運営募集説明）
11月～	企画講座募集締め切り・書類審査
11月下旬	講座企画運営選考委員会（プレゼンテーション審査）
12月上旬	第3回宇都宮市民大学運営協議会（平成27年度企画の決定）